



うさぎ組だより

～初夏号～

担任 千夏 有菜 真由美 美保 真奈美

うさぎ組になって、あっという間に3ヶ月が経ちました。今年度は新園舎建設に伴い、仮園舎で新たな生活のスタートとなりました。初めは、登園時泣いたり、新しい環境に戸惑うこともありましたが、今では元気いっぱいの子供達。友達や保育士の名前を覚えて楽しくおしゃべりを楽しむ姿が見られます。

仮園舎となり、何かとご不便をおかけする事があるかもしれませんが、職員一同力を合わせ、工夫を凝らし、子供達の健やかな成長を手助けしていけたらと思いますので、ご協力よろしくお願い致します。

<生活>

登園後は、自分のマークのところにタオルをかける所から始まります。おやつや食後にはおしぼりを使って口の周りや手を自分で拭き、その片付けを行っています。また簡単な衣服の着脱など自分でやってみようとしていたり、中には脱いだものを自分でたたむ子の姿も見られるようになりました。今月からは当番活動（自己紹介、出席ノート配り）にも少しずつチャレンジしていきます。排泄面ではトイレに誘うと自分でズボンやおむつを脱いでくれたり、便器に座ってうーんと出そうとりきんでみたり、成功した時には「出たー！」と喜んで知らせてくれます。パンツで過ごせる子も増えてきて、トイレで排便できると自信にもつながっているようです。一人一人のペースで無理のないよう楽しく自立へと進めていきたいと思っています。

<食事>

「きゅうしょくきゅうしょくうれしいな〜♪」と嬉しそうに給食の歌を歌う子供達。自分でフォークを持って『これニンジンだよ』と食材に興味を持って喜んで口に運んでいます。苦手な食べ物も一口や少量ずつから始め、だんだん食べられる量が増えてきました。時間が経つと、椅子の上に足を上げて食べる姿も見られるので、その都度声を掛けながら、正しい姿勢で楽しく食事をしていきたいと思っています。

<遊び>

絵本が大好きな子供達は、自分でも絵本を取り出しよく見えています。最近ではだんご虫やかたつむりなどの小さな生き物に興味を持ち、そのページを見ながら喜んでいきます。戸外へ出ると「先生、虫どこ？」とアリやてんとう虫探しが始まります。見つけると友達に知らせたり、おそろおそろ触ってみようとしていたり自然との触れ合いが大好きな子供達です。室内では、ままごとやブロックで一人でじっくり、または友達とごっこ遊びをしたり友達との関わりも増えてきました。しかし、玩具の貸し借りなどでは、まだ、うまく言葉で伝えられず、噛みつきや手が出てしまうこともあります。友達と一緒に遊ぶ姿を見守り、お互いの思いを受け止めながら、友達との関わり方や言葉での伝え方などを知らせていきたいと思っています。

<これまでの取り組み>

- ・月刊誌の読み聞かせ、シール貼り
- ・毎月の製作
- ・ファミリーデーの製作
- ・夏まつり遊びうちわ製作
- ・散歩練習



<これからの取り組み>

- ・毎月の製作
- ・水遊び、プール遊び
- ・散歩練習

